

薬剤耐性菌・新興再興感染症の伝播拡散を防止する 医療環境・素材の研究開発

① 共同研究・産学連携への意気込み



教授
貫井 陽子

本学は京都府唯一の第一種感染症指定医療機関です。様々な感染症診療を行う中で、医療機関・施設内でのアウトブレイクを防止する医療環境・新規素材の開発に貢献したいと思っております。

② 想定される連携先・移転先

様々な医療環境（ベッド・空調・空気清浄機・紫外線機器・医療機器・トイレ・浴室など）・新規素材を開発している企業やアカデミアと有機的に連携し、共同研究への活用や診療への実装を目指します。

キーワード

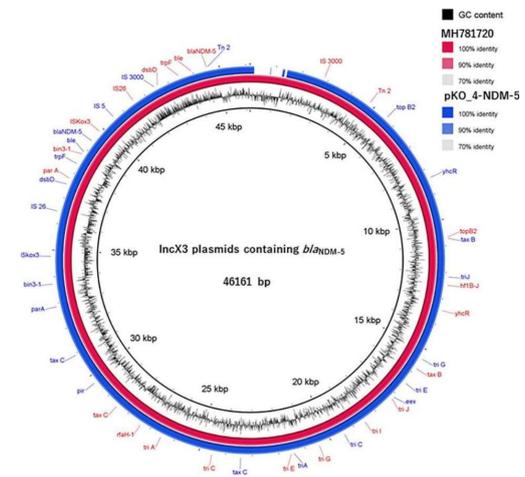
薬剤耐性菌、新型コロナウイルス感染症、新興・再興感染症、医療環境

研究内容

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより感染症は非常に身近な存在となりました。新型コロナウイルス感染症はワクチン・治療薬開発が進み収束傾向にありますが、ポストコロナにおいて薬剤耐性菌や新興・再興感染症への取り組みは喫緊の課題です。

これらの感染症を病院内で伝播拡大させないためには、感染対策、抗菌薬適正使用の推進のみならず感染経路を遮断する医療環境の提供、新規医療素材の開発も重要です。私たちはこれまで複数の大学と連携しながら、薬剤耐性菌の分子疫学解析を積極的に推進してきました。また紫外線照射による医療環境の清浄化の検証などへの参画も行っております。

様々な分野と連携することで、研究を発展させ、医療に貢献したいと考えております。



- 1) Front Microbiol. 2023, Aug 17;14:1209195
- 2) Appl Environ Microbiol. 2022, 88(8); e0001922
- 3) Microbiol Spectr. 2022,10(6); e0332022
- 4) Front Microbiol. 2022, 13; 880248
- 5) J Glob Antimicrob Resist. 2019, 18:148-150.